

守る会ホームページ！！ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi>

ね

そ

白川郷荻町集落の自然環境を守る会

発行 平成25年 9月号

## オオハンゴンソウの除去作業！！

8月17日夕刻に荻町上町において、オオハンゴンソウの除去作業を行いました。オオハンゴンソウは北米原産のキク科の多年草で、オオキンケイギクとともに特定外来生物に指定されている植物です。植生が強く在来種を駆逐し増殖するため、村でも駆除を推進しています。7月の区長会で村からの駆除協力のお願い文書が出され、「荻町の景観に関する懇談会」でも話題の一つにあがっていました。そこで、根尾副会長の声かけ・指導の基に、守る会委員有志10名程で駆除作業にチャレンジしました。本来の駆除方法は「種ができる前に根から引き抜き、2～3日天日で枯死させた後ビニール袋等で密閉し燃えるゴミに出す」ことを推奨



【オオハンゴンソウの花と根を除去】

していますが、今回は既に大きく成長していたため、種を落とさないよう花を摘み取ることを一番の目的とし、引き抜くことができたものは根の部分を持ち集め、花と共に焼却処分に出しました。駆除を体験してみると、花の量は限りなく、根を引き抜くにもかなりの力を要します。大きく成長する前に駆除に心がける必要を痛感しました。また、花自体が黄色く見栄えのする花であるため、駆除すべき植物であることを知らなければ、逆にそのまま育て増殖させてしまう恐れもあります。オオハンゴンソウは別名「過疎花」とも呼ばれ、人が住まなくなった地域に広がります。そんな植物が集落内に広がると、世界遺産集落として決して誇れる景観とはなりません。守る会ではこれを機会に、今後も駆除活動を推進したいと考えていますので、区民の皆様



【オオハンゴンソウ】

の防除・駆除にむけたご協力をよろしくお願い申し上げます。

【文責：和田】

## 旧寺口家の「結」による屋根葺きについて(お願い)

来る10月26日(土)、旧寺口家の屋根葺きを「結」で行います(雨天翌日順延、朝の同報無線で連絡)。7時30分に集合・説明の後作業スタート。昼食は各自で備準。午後3時には作業を終え3時30分より荻町公民館にてささやかな振舞いを予定しています。日本ナショナルトラスト会員によるボランティアや小中学生の参加も予定されていますので、「結」の原点に帰り地元住民のお力をお貸しください。合掌をお持ちの組合員の皆様、参加される荻町区民・住民の皆様には何かとご面倒をおかけいたしますが、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。なお詳細につきましては、本会報紙と一緒に配付しました文書をご覧ください。また、新たな参加希望者がおみえでしたら、諸準備等の関係もありますので、早急に守る会役員までご連絡くださいますようよろしくお願い申し上げます。 【白川郷合掌家屋保存組合・日本ナショナルトラスト・守る会】

## 屋根葺き技術講習会開催・・・

7月27日、寺尾の茅収納庫広場において、合掌家屋保存組合主催による見出しの講習会が開催されました。今回は15名が参加し、地元業者の葺き師や諸先輩方から屋根葺きの技術を学びました。山からねそを切り出す作業からスタートし、ねその練り方・結束の仕方、わら縄によるワサン・ハコ巻き・ツノ結び、茅を並べて葺く手順等を丁寧に指導いただきました。初めて学ぶ者、久々に作業を体験する者、技術を習得したベテランが一緒になり、技術のレベルアップに努めました。技術はいくつもの経験を通して身につくものであることや技術を伝承していくことの大切さを痛感した一時でした。【文責：和田】



【仮設屋根を組んで屋根葺き体験】

## 現代結による屋根葺き・・・

8月24日～25日にかけて、和田利治家の表側の屋根葺きを「現代結」で行いました。「現代結」は、合掌造りを所有する白川郷合掌家屋保存組合の組合員によって行う結で、出役日を分担して実施しました。和田さんは屋根葺き業者でもあります。結による技術の伝承「みんなで屋根を守る絆」といった結の大切さを深く認識してみえ、「現代結」での屋根葺きを実施してくださいました。何度も屋根葺きを経験し高い技術をもった方々の存在と若い人たちが率先して屋根に上がり技術を高める姿に頼もしさを感じました。10月26日の旧寺口家の屋根葺きでも、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。【文責：和田】



【人々の力が結集した屋根葺き】

## 村伝建審議会開催・・・

9月9日役場会議室において、今年度1回目の会議を開催しました。委員には荻町からは荻町区長・守る会3役にご参加いただいておりますが、今年度より新たに3名の委員が加わり（平瀬大松勝巳さん、荻町佐藤里子さん、馬狩山田俊行さん）12名の委員となりました。審議事項では「荻町の里山維持管理調査」について説明・意見交流を行いました。これは守る会40周年座談会で出された課題「植林による里山景観の変化及び隣接する合掌屋根への支障」の解決にむけた取り組みとなります。今年から来年にかけ筑波大学黒田先生による昔の里山の活用状況調査を行いながら、林を里山に戻す事業、管理できていない林の間伐等への取り組みを進めたいと考えています。調査及び事業の推進にむけ、荻町区民の皆様のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。【文責：教育委員会】

### 守る会活動スローガン ～ 守る・くらす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②くらす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、国内外の交流から学び、未来への継承者を育成

## ＝ 8月の活動報告 ＝

- 8月 1日 韓国河回里手紙による交流（会長）
  - 8月 9日 8月定例会
  - 8月 10日 岩手放送取材（会長）
  - 8月 11日 ねそ8月号配付
  - 8月 17日 オオハンゴンソウ除去作業（委員有志）
  - 8月 24日 和田利治家現代結による葺替（～25日）
  - 8月 29日 旧松井家・旧寺口家管理運営委員会（3役）
- ※10月の定例会は、10日（木）公民館にて開催を予定しています。

### ＝ 区民の皆様へ ＝

建物や土地などの現状を変更する場合は許可が必要です。必ず現状変更申請をして下さい。申請書は守る会定例会の2週間前までに、各組委員に内容を説明の上、委員又は財団に提出して下さい。このことは、遺産の保全と未来への継承のためとても重要なことです。皆様のご理解ご協力をお願いします。

### ☆ 9月の協議事項（現状変更申請に関わって） ☆

白川村・・・旧荻町駐車場東側木橋の改修